

日本図書館情報学会
会長 岸田 和明
第73回研究大会実行委員会
事務局 佐藤 翔

第73回 日本図書館情報学会 研究大会 ご案内

会員の皆さんにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先の「会報（No.202）」にてご案内申し上げましたとおり、第73回日本図書館情報学会研究大会ならびに会員集会を下記の要領で開催いたします。

この度の第73回研究大会では、合計28件（口頭発表17件、ポスター発表11件）の研究発表申込がありました。内容といたしましては、公共図書館、学校図書館、大学図書館、図書館情報学教育など、それぞれの分野における昨今の課題に取り組んだ発表が多く、ご参加の皆さんに意義のある会合となることが期待されます。

また、大会第2日目の昼に「ポスター発表」を、午後には一般公開シンポジウム「図書館情報学と他領域との共同研究の可能性：連携・協働の実際」（事前申し込み不要）を開催いたします。

なお、大会初日の研究発表終了後、懇親の場を設けます。ぜひ懇親会へもご参加いただき、会員同士の交流の場、意見交換の場としてご活用ください。

研究大会のご案内は、日本図書館情報学会のウェブサイト (<https://jslis.jp/events/annual-conference/>) からもご覧いただけます。大会に関わる最新の情報やニュース等もウェブサイトに掲載されますので、併せてご参考ください。

記

1. 開催概要

日 時： 2025年12月13日（土）、14日（日）

会 場： 同志社大学 新町キャンパス 臨光館（京都市上京区新町通今出川上ル近衛殿表町159-1）

学会ウェブサイト：<https://www.jslis.jp/events/annual-conference/> もご参照ください。

2. 日 程

【第1日】 12月13日（土）

- | | |
|---------------|------------------------------|
| 12:30 – | 受付（臨光館2階廊下東側） |
| 13:00 – 13:15 | 開会式（臨光館2階 R201教室） |
| 13:15 – 13:20 | 発表に関する諸注意 |
| 13:30 – 17:05 | 口頭発表（臨光館2階 R201教室、R204教室） |
| 17:30 – 19:30 | 懇親会（アマーク・ド・パラディ（同志社大学寒梅館1階）） |

【第2日】 12月14日（日）

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 9:00 – | 受付（臨光館2階廊下東側） |
| 9:30 – 11:10 | 口頭発表（臨光館2階 R201教室、R204教室） |
| 11:15 – 12:45 | ポスター発表（臨光館2階 R205）、昼食 |
| 12:50 – 14:05 | 会員集会・学会賞等授与式（臨光館2階 R201教室） |

14:15－16:45 シンポジウム（臨光館 2 階 R201 教室）

16:45－16:50 閉会式（臨光館 2 階 R201 教室）

3. 申込み要領

(1) 参加費

	研究大会参加費	懇親会参加費
正会員、賛助会員にご所属の方	無料	5,000 円
学生会員	無料	
非会員	4,000 円	

・大会 2 日目のシンポジウムには、どなたでもご参加いただけます（事前申込不要、無料）。

(2) 参加申込み・振込

- ・第 73 回研究大会の参加申込ならびに参加費等の支払い等の手続きにつきましては、イベント開催システム「Peatix（ピーティックス）」を利用いたします。
- ・参加ご希望の方は、12 月 4 日（木）23：59 までに参加申込のうえ参加費等をお支払いください。必ず事前に参加申込を行ってくださいますようお願ひいたします。
- ・オンライン決済のほか、コンビニ決済もご利用いただけます。ただし、コンビニ決済の場合に限り、追加の手数料（330 円）がかかります。
- ・学生会員の方は無料でご参加いただけますが、事前に参加申込を行ってください。
- ・大会 2 日目のシンポジウムには、どなたでもご参加いただけます（事前申込不要、無料）。
- ・キャンセルポリシー：懇親会参加チケット（5,000 円）につきましては、お店の準備の関係で、キャンセル不可とさせていただきます。一方、研究大会参加チケット（会員：4,000 円）につきましては、大会前日までキャンセルを受け付けます。ただし、Peatix による所定のキャンセル手数料（340 円）が発生します。予めご了承ください。

研究大会参加申込・支払い先（Peatix）

URL : <https://jslis-73th.peatix.com/>

QR コード：



(3) 『発表論文集』の頒布

研究大会に現地参加されない方で、資料（『第 73 回日本図書館情報学会研究大会発表論文集』）のみをご希望の方は、Peatix から 2,000 円をお支払いの上、資料送付先をお知らせください。

研究大会終了後、レターパックにて資料を送付いたします。

(4) 昼 食

新町キャンパスの学生食堂（新町カフェテリア）は土曜日・日曜日は営業しておりません。徒歩数分の今出川校地には土曜日営業の学生食堂もございますが、日曜日の営業はございません。

近隣の昼食マップについて、当日会場等に用意させていただく予定です。また、ご昼食お持ち込みの場合は休憩室（R210）にてご飲食可能です。

(5) 宿 泊

研究大会事務局による宿泊の斡旋はしておりません。ご了承ください。

(6) ラーニング・コモンズの見学

同志社大学図書館は現在、改修中のため見学できません。

同志社大学今出川校地良心館ラーニング・コモンズについて、大会参加者の方は、開館時間中（土曜日 9:00-22:00、日曜日 10:00-17:00）にご見学いただくことができます。ご希望の方はラーニング・コモンズ入り口にて、必要事項を記入しご見学ください。学会開催会場である新町キャンパスから今出川校地までは徒歩 5~10 分程度です。

4. 第 73 回日本図書館情報学会研究大会プログラム（2025.10.26 現在）

※会場移動等を考慮し、各発表の間に 5 分のインターバルを設けています。

第 1 日 12 月 13 日（土）

第 1 会場：臨光館 2 階 R201 教室、第 2 会場：臨光館 2 階 R204 教室

12:30～	受付（臨光館 2 階廊下東側）	
13:00～13:15	開会式（臨光館 2 階 R201 教室）	
	第 1 会場（臨光館 2 階 R201 教室）	第 2 会場（臨光館 2 階 R204 教室）
13:30～14:00	* 門脇夏紀（駿河台大学） BERTopicに基づく書名のクラスタリング実験：階層的潜在ディリクレ配分との比較	川瀬直人（国立国会図書館） オープンアクセス義務化前の、科研費による研究成果の発表状況
14:05～14:35	* 川又理奈（國學院大學大学院）、新藤透（國學院大學） 松岡享子の図書館思想	村上陽菜（筑波大学大学院、日本医薬情報センター附属図書館） 副作用報告制度における安全性情報の収集を目的とした計量書誌学的手法によるコア・ジャーナル選定の試み
14:40～15:10	* 豊富瑞歩（筑波大学大学院） 日米の公共図書館における読書犬プログラムの実態と参与者の相互作用	
15:10～15:25	休憩	
15:25～15:55	* 吉澤小百合（実践女子大学） 探究学習の実施における学校図書館と学校図書館職員の現状と課題：SCAT を用いた自由記述分析	新見楳子（東京大学情報基盤課） 北米の研究大学図書館における「学士課程学生による研究」に対する支援の現状：2025 年質問紙調査の報告

16:00~16:30	* 岡崎那菜(筑波大学大学院) 中高一貫校における教員と学校図書館業務に従事する専門職員の職務理解と連携 : 学校社会と学校図書館に着目して	河村俊太郎(東京大学) 東京大学工学部電気工学科・電子学科における図書館分類と研究及び教育との関係の歴史的検討 : 大規模な分類替えが行われた1966年を中心に
16:35~17:05	坂下直子(神戸女子大学) 教員の自己研修における図書館 : 長野県諏訪郡高島学校における益友社文庫に着目して	金井喜一郎(相模女子大学), 日向良和(都留文科大学), 浅石卓真(南山大学), 池内有為(文教大学), 河村俊太郎(東京大学) 司書課程履修者の学習モチベーションを高める取組の実施状況

第2日 12月14日(日)

第1会場：臨光館2階R201教室, 第2会場：臨光館2階R204教室, ポスター発表会場：臨光館2階R205教室

9:00~	受付（臨光館2階廊下東側）	
	第1会場（臨光館2階R201教室）	第2会場（臨光館2階R204教室）
9:30~10:00	川島美奈(広島県立福山北特別支援学校), 三輪眞木子(放送大学) 知的障害特別支援学校図書館利用推進に関する事例研究	吉井潤(都留文科大学) 図書館基本構想策定後における基本理念・方針の実現度に関する傾向分析
	第1会場（5号棟5階55B教室）	第2会場（臨光館2階R204教室）
10:05~10:35	村上幸二(神戸松蔭大学) 小学校社会科歴史学習領域の教科書語彙と小学校件名標目表：BSHとNDC相関索引との比較を中心	佐藤晋之(別府大学) 公共図書館における個人制作コンテンツの郷土資料受入：音楽分野を事例として
10:40~11:10	大平睦美(京都産業大学) 図書館資料活用データの学校間共有：教材選択の最適化支援と情報格差の是正	野口浩子(国際医療福祉大学) 奄美琉米／日米文化会館時代の保存蔵書（洋書）の分析
11:15~12:45 (昼食を含む)	<p>ポスター発表（臨光館2階R205教室）</p> <p>P-1 : ●庭井史絵(青山学院大学), 稲垣忠(東北学院大学), 登本洋子(東京学芸大学), マース・アレクサンダー(東北学院大学)／探究学習における情報収集指導の現状とWebサービスによる改善 P-2 : ▲木幡智子(岐阜女子大学), 江良友子(愛知学泉短期大学), 木幡洋子(愛知県立大学)／教育人権保障としての通信制高等学校の学校図書館：第一次調査 P-3 : ◆浅石卓真(南山大学), 宮田玲(東京大学), 今野創祐(東京学芸大学)／学校図書館を活用した授業のための学習指導案作成支援システムの開発 P-4 : ●佐藤聰子(筑波大学大学院)／自治体の総合計画における公立図書館の記述が属する政策カテゴリの分析 P-5 : ▲水沼友宏(桃山学院大学)／館種により「あった方が良い本」はどう異なるか：公立・学校・大学図書館におけるLGBTQ+関連本を題材に P-6 : ◆池谷のぞみ(慶應義塾大学), 江藤正己(学習院女子大学), 須賀千絵(実践女子大学)／県市合築図書館で健康医療分野のコレクションマネジメントはいかに行われているか？ P-7 : ●安形麻理(慶應義塾大学)／グーテンベルク聖書の上巻第4葉表ページに見られる異物の痕跡とその意義 P-8 : ▲岡田大輔(尚絅大学)／韓国の「司書職」採用試験問題に見る専門性と教育的意義 P-9 : ◆橋詰秋子(実践女子大学), 金井喜一郎(相模女子大学), 木村麻衣子(日本女子大学), 宮田洋輔(慶應義塾大学)／北米における目録作成に関するeラーニング教材の現状 P-10 : ●大沼太兵衛(山形県立米沢女子短期大学), 浅石卓真(南山大学)／専門事典における外部文献参照の計量分析：『図書館情報学事典』を対象として P-11 : ▲安形輝(亞細亞大学), 江藤正己(学習院女子大学), 安形麻理(慶應義塾大学), 橋詰秋子(実践女子大学), 杉江典子(東洋大学), 大谷康晴(青山学院大学)／日本のマンガの翻訳版の差分画像を用いた文字領域の自動検出と情報抽出の試み</p> <p>以下の印の付いた時間帯には必ず自分のポスターの前に立ち、来場者への説明の実施、質問等への対応を行ってください。 それ以外の時間帯は、他の発表者の発表を聴くなどしても構いません。</p> <p>● : 11:15~11:45, ▲ : 11:45~12:15, ◆ : 12:15~12:45</p>	
	昼食	
12:50~14:05	会員集会・学会賞等授与式（臨光館2階R201教室）	
14:15~16:45	シンポジウム（臨光館2階R201教室）	
16:45~16:50	閉会式（臨光館2階R201教室）	

※氏名前の＊は優秀発表奨励賞授与候補者（自己申告による若手研究者）です。同賞選考委員会が審査し、受賞者を選出します。このプログラムは暫定版であり発表論文の提出をもって確定します。所属は教職員（常勤／非常勤）・学部生は「機関名」（「大学名」），院生は「大学院名」（「〇〇大学大学院」）としました。

5. 会員集会・学会賞等授与式

研究大会2日目に、次のとおり、会員集会及び2025年度学会賞・論文賞・奨励賞・学会活動への貢献に対する感謝状の授与式を行います。

- ・日時：12月14日（日）12:50～14:05
- ・会場：同志社大学 新町キャンパス 臨光館2階 R201教室

[会員集会]

1. 会勢報告／2. 2025年度定例（通信）総会の議案投票結果報告
3. 委員会等報告／4. 意見交換、質疑／5. その他

[学会賞等授与式]

1. 学会賞・論文賞・奨励賞・学会活動への貢献に対する感謝状選考結果報告
2. 各賞・感謝状授与

6. 第73回日本図書館情報学会研究大会シンポジウム

- ・日 時： 12月14日（日）14:15～16:45
- ・会 場： 同志社大学 新町キャンパス 臨光館2階 R201教室
- ・参 加： 研究大会参加者以外にも一般公開します。事前申込不要（無料）。
- ・テーマ： 図書館情報学と他領域との共同研究の可能性：連携・協同の実際
- ・趣 旨： 図書館情報学は、時代の変化に応じて柔軟な拡がりを受け入れられる学際的な領域であり、時代と社会の要請を受けて、他領域との協同を続けることが求められている。2017年に本学会の図書館情報学に資する事業ワーキンググループが提出した報告書でも、今後の図書館情報学の方向性として、人文社会科学の大領域との連携や隣接領域との協同などが示されている。それでは、具体的に図書館情報学と他領域の共同研究はどのようなきっかけで始まり、どのように役割分担して進められているのだろうか？本年度の研究大会シンポジウムでは、他領域との連携・協同を通じて図書館情報学を発展させていくための参考とするため、実際に共同研究を行ってきた研究者から共同研究の契機、研究プロジェクトの進め方、図書館情報学者の役割、他領域の研究者への期待などをお話ししていただく。そのち、会場の参加者と登壇者全員でパネルディスカッションを行う。本シンポジウムを契機として、会員による新たな共同研究が発足すること、例えば科学研究費の代表者による分担者の募集等につながることを期待する。なお、パネルディスカッションは学会員への事前アンケートの結果を適宜盛り込み、会場からも活発な意見をいただく構成とする。

- ・登壇者（敬称略：50音順）：

安形麻理（慶應義塾大学）

阿児雄之（東京国立博物館 学芸企画部 博物館情報課）

奥村紀之（武庫川女子大学）

木村麻衣子（日本女子大学）

- ・コーディネータ・司会（敬称略）：

浅石卓真（南山大学）

7. 展示・その他

- ・日 時： 12月13日（土）～12月14日（日）の大会開催中
- ・会 場： 同志社大学 新町キャンパス 臨光館2階 R205
- ・内 容： 協賛企業等による図書館情報学関連のシステム、商品、サービス、書籍の展示・販売等

8. 託児サービス（試行）

研究大会の両日に託児サービスを試行します。利用を希望する方は、日本図書館情報学会のウェブサイト (<https://jslis.jp/events/annual-conference/>) の「学会員向け各種支援」の「3. 託児サービスの実施（試行）」をご覧ください。申込期間は9月1日から12月1日（月）17時までです。

9. 会場へのアクセス

- ・同志社大学 新町キャンパス 臨光館は地下鉄烏丸線今出川駅から徒歩約10分です。地下鉄今出川駅直結の今出川キャンパスではなく、そこから西に歩いた飛び地が新町キャパスです。地下鉄の駅を出た後、今出川通りもしくは上立売通りを西に進み、新町通りで曲がると到着します。
 - ・京阪本線をご利用の場合、出町柳駅から徒歩（約25分）もしくはバスでお越しください。
 - ・最寄りのバス停は「上京区総合庁舎前」です。
-
- ・新町キャパスへの交通アクセス情報：
https://www.doshisha.ac.jp/information/access/index.html#access_shinmachi

第73回 日本国書館情報学会 研究大会 事務局

〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学 免許資格課程センター図書館司書課程 佐藤翔研究室内

jslis2025-office[at]slis.doshisha.ac.jp (研究大会実行委員会事務局 ML)